



コウノトリ繁殖支援プロジェクト@2020 神栖

かみす

ニュースレター No.2

2020年7月9日



寄付金額が100万円を超えました！

かねてより多くの皆様のご支援をお寄せ頂いておりましたプロジェクトの寄付金が、6月23日に **100万円を突破**しました！！

ご寄付いただいた個人・企業の皆さま、ご支援有難うございます♪プロジェクト達成のために大切に使用させていただきます。6月30日時点での寄付総額・件数等は以下の通りとなっています。

- 寄付総額： 112.15万 (寄付件数：81件)
- 現時点までの使用内容：人工巣塔の製造・設置(1基分)、寄付金募集ちらしの印刷など

※詳細内容・額については、最終報告でご報告予定です。

寄付金は引き続き募集しています。関心をお持ちの方・事業所等へのお声かけやSNSなどでの発信など、さらなるご支援・ご協力、よろしくお願い致します！



コウノトリたちの近況報告@神栖市

地元でコウノトリを見守っている波崎愛鳥会の方々からの情報です！

7月初旬時点で、「第1基人工巣塔」のある利根川下流左岸の神栖市川尻・矢田部地区において、3羽のコウノトリたちが水田や河川敷の湿地で過ごしているのが確認されています。



人工巣塔のある矢田部地区の水田で採餌する未来 J0116・翔 J0117・レイ J0238 の3羽(6/17)

今春、危険な高圧鉄塔のてっぺんにある巣材の撤去後、別行動をとっていたとみられる翔（♂）と未来（♀）の神栖ペアですが、6月中旬になって一緒の場所で採餌する様子が連日確認されるようになってきました。翔はしばらく8km程離れた対岸の旭市で過ごすことも多かったため、ペアの行く末が注目されましたが、戻ってきてほっとしています。今シーズンの繁殖は見送りとなりましたが、一同、来春に期待し「第2号巣塔」設置の準備を進めています。



(左) 2ヶ月半ぶりに一緒に過ごす姿が確認された未来♀と翔♂：6/12
(右) 青々とした水田に囲まれた第1基人工巣塔



(左) クラッタリングする翔♂とレイ♀：6/17
(右) しばし埼玉県方面に出かけていたレイ（♀）も神栖に戻ってきました：6/17



(左) 利根川河川敷の湿地で仲良く休憩中の未来（♀）と翔（♂）：6/27
(右) 利根川沿いの水田で採餌する翔（♂）と未来（♀）：7/4

※写真提供：波崎愛鳥会（阿部氏・平井氏・柳堀氏）

★コウノトリ観察に神栖へおいでの際は、地元住民・農家の方々のご迷惑にならないよう、また、コウノトリたちに近づきすぎないように、ご注意くださいようお願い致します。

【協働推進団体】波崎愛鳥会・日本野鳥の会茨城県・(公財)山階鳥類研究所・(公財)日本生態系協会
【お問合せ】(公財)日本生態系協会(担当：大見) ☎048-649-3860/Email: kounotori@ecosys.or.jp